

「人間力」とは、社会を生き抜く力だと思います。社会は個性や考え方の違う人々で成り立っています。だから衝突が起きるのも当然です。そういう状況でも人間関係に調和を保つ力が人間力だと思います。

私は中学時代、吹奏楽部に所属していました。アンサンブルコンテストの県大会に出場するチームを部内の選考会で決めることになりました。私たちのチームはリズムや音質でまともりがなく、絶体絶命のピンチでした。そこで、私たちはお互いの弱点を指摘し合い、自主練習を繰り返し返しました。その結果、県大会に出場するチームに選ばれました。

私はこの時、「人間力」に触れたように思いました。きっと、人間関係を高め、みんなでピンチをチャンスに変えることができたからでしょう。このように、人間力があれば、衝突を和らげ、逆にそこからチームワークなどの力を引き出せます。人間力は今の社会に必要な力の一つだと思います。

人間力を身につけるためには、誰かを助ける気持ちを持つことと、他人と積極的にコミュニケーションをとることだと思います。

私は食事の準備や買い物などできるだけ家事を手伝うようにしています。高校に入学すると、その時間が減るかもしれません。しかし、時間を上手に使うことで手伝いの時間を確保したいと思っています。家族を助けることは、広い目で見ると、社会のために役立つことにつながります。それは人間力を養うことにもなるはずです。

また、私は積極的に人に話しかけ、コミュニケーションをとりたいと思います。私は以前、人見知りをする傾向がありました。しかし、あいさつをするだけでもお互いの印象は変わります。あいさつをしたり、目を見て話たりするように心がけていたら、だんだん友だちが増えてきました。このようにコミュニケーションを積極的にとることも人間力を高めることになると思います。